

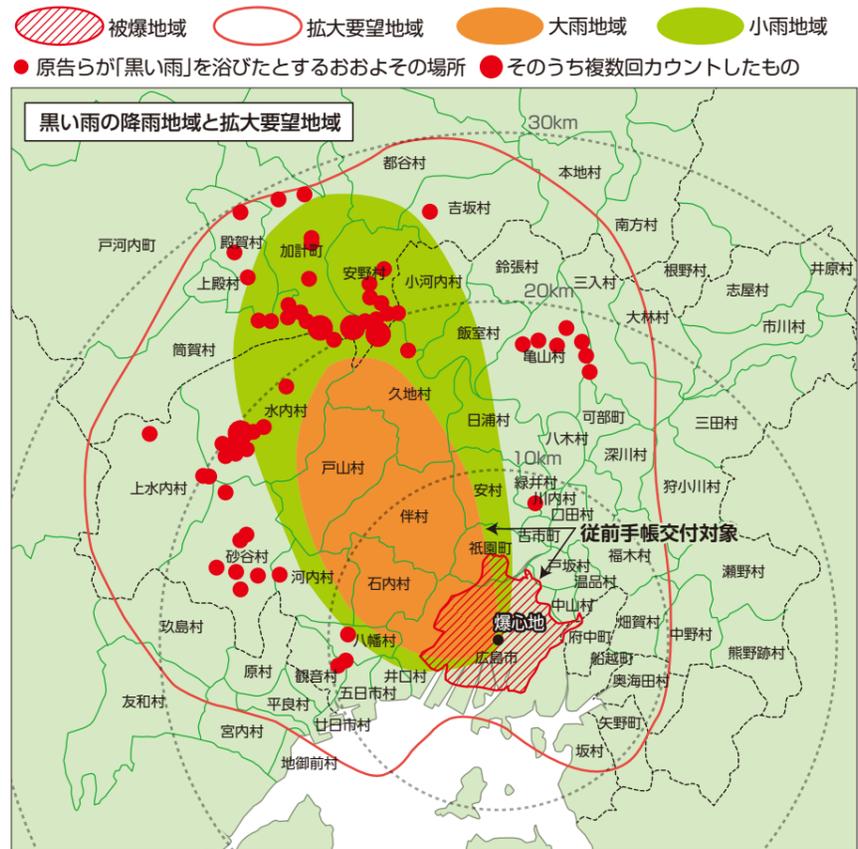
### 世界恒久平和への貢献

広島県出身の国会議員であることは、平口ひろしの原点です。唯一の被爆国として核廃絶の実現と世界恒久平和に向けて、一層の努力をして参ります。数少ない重要な被爆建物として旧陸軍被服支廠を保存し、平和の象徴としていきます。

### 「黒い雨」地域の拡大に向けて

令和3年7月14日広島への原爆投下後に降った「黒い雨」の訴訟で、原告84人(内14人は死亡)全員を被爆者と認定し、被爆健康手帳の交付を認めました(7月29日国の上告断念により判決が確定)。また7月27日原告以外の「黒い雨」の被害者の被爆者認定についても、訴訟の参加・不参加にかかわらず認定し、救済するとの閣議決定をしました。平口ひろしは、「原子爆弾被爆者救済及び核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を推進する議員連盟」の事務局長として、もうこれ以上の法廷の議論はやめ、長年にわたる被爆者の苦しみを考え、政治判断すべきとの立場でしたので、今回の国の上告断念をととても喜んでいきます。

そもそも76年前の出来事に対して科学的知見を要求するというのは無茶な話です。今後は、原告と同じような事情のある方々の認定基準を早急に決め、救済できるようにすること、また、長崎への原爆投下に伴う被爆者を救済していくことが課題です。

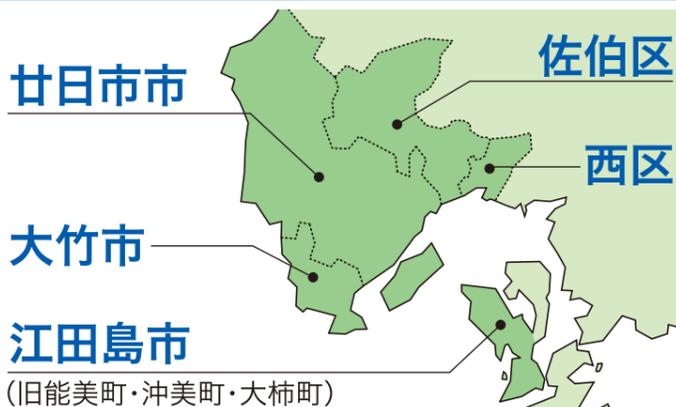


### 広島陸軍被服支廠の今後の扱いについて

8月6日平和祈念式典の後、田村厚生労働大臣は、旧陸軍被服支廠を訪ねました。旧陸軍被服支廠は現存する数少ない重要な被爆建物で、保存運動が起こっています。4棟ある3棟は広島県の所有ですが、残りの1棟は国の所有です。今のところ「原子爆弾被爆者救済及び核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を推進する議員連盟」は、重要文化財として文部科学省の所管にするべく財務省と話し合っています。国有財産の普通財産は中国財務局の管理するところであり、文部科学省が重要文化財として受け取るまではこのような手続となります。厚生労働大臣も大規模な被爆建物としてしっかり後世に残していきたいと発言しました。



### 平口ひろしの選挙区 (広島県第二選挙区)



### 平口ひろしプロフィール

- 昭和23年8月1日生まれ
  - 広島学院高等学校卒業
  - 東京大学法学部卒業
  - 建設省入省道路局配属
  - 米国ペンシルベニア大学留学
  - 秋田県警察本部長
  - 国土交通省河川局次長
  - 自由民主党広島県第二選挙区 支部長
  - 平成17年 衆議院議員選挙で初当選
  - 平成27年 環境副大臣
  - 平成29年 衆議院選挙で4回目の当選
  - 平成30年 法務副大臣
  - 令和元年 自由民主党厚生労働部会長
  - 令和2年 自由民主党新型コロナウイルス関連肺炎対策本部 事務局長
  - 令和2年 自由民主党国土交通部会長
- 趣味 / カーブ観戦、スキー、水泳  
○ 好物 / お好み焼き

平口ひろしホームページ / <https://www.hiraguchi.com>  
E-mail [info@hiraguchi.com](mailto:info@hiraguchi.com)  
発行者 / 平口ひろし事務所  
〒733-0812 広島市西区己斐本町2-6-20  
TEL 082-527-2100 FAX 082-527-2101



# 平口ひろし

自由民主党国土交通部会長 衆議院議員(4期)  
自由民主党広島県第二選挙区支部長

やります! 私の信念で!

政治とカネの問題にけじめ  
コロナ禍の克服と生活・経済の再生へ  
防災・減災・国土強靱化の推進

子供の健全な育成と全員共同参画社会の構築  
2050年カーボンニュートラルの実現

世界恒久平和への貢献

# 聞く! 見る! 動く! 全力政治!!

## お詫び

「政治とカネ」の問題や中央政官界をめぐる不祥事では、皆様方から厳しいご批判をいただきました。大変残念な思いであると同時に、心よりお詫びを申し上げます。政治を担う者として深く反省し、身を引き締め、誠心誠意、信頼回復に努めて参ります。

# 聞く！見る！動く！全力政治

## コロナ禍の克服と生活・経済の再生へ

医療従事者の皆様には2年近い長期間、心身ともに疲労の極限状態の中、強い志で頑張ってください感謝以外ありません。ワクチンの確保と供給の目途がたち、2回目を終了した方は5割を超えました。

同時に疲弊した経済と生活を救済しなくてはなりません。経営不振にあえぐ事業主の皆様と休業や時短を強いられている従業員の皆様を月次支援金、雇用調整助成金で支え、雇用確保をバックアップします。特にダメージが大きかった飲食業や観光業には思い切った有効策を展開して参ります。更に、コロナ禍で学んだ各分野でのオンライン化を推進し、1日も早く明るい生活を取り戻せるよう平口ひろしは全力で動きます。



## より迅速に、地域の安心・安全・快適な生活のために

## 防災・減災・国土強靱化の推進

## 復旧予算を確保 —ワイヤーネット・ワイヤーセンサー設置へ—

### 8月大雨災害の応急対策の着手

令和3年8月14日から15日にかけて、広島を大雨が襲い広島市西区田方3丁目と西区己斐上5丁目では大規模な土砂災害が発生しました。幸い、事前に警察と消防の力で住民は避難し、間一髪で難を免れ無事でした。

8月22日には国土交通大臣が田方3丁目を視察し、地元の要求を聞きました。その結果、直ちに緊急対策予算の確保に至り、ワイヤーセンサーやワイヤーネットによる応急措置が国の予算でなされることになりました。本格的復旧も国の予算でおこなわれる見込みで、砂防ダムなどの建設が予定されています。

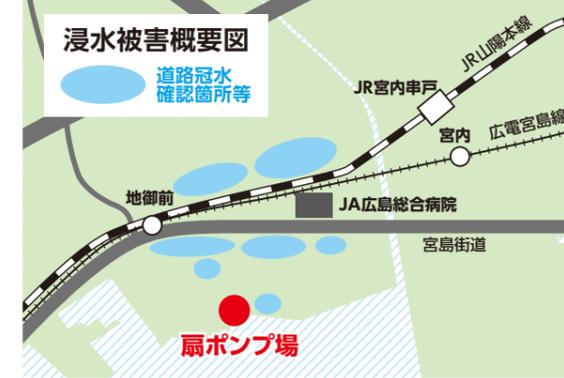
また、同じ豪雨で広島市佐伯区の五月が丘中学校の裏山で土砂崩れが発生し、学校が水浸しになりました。

今後、平口ひろしは地元の要望をふまえ、数多くの危険箇所への安全対策について国会の場で議論していきます。



## 廿日市地御前地区 雨水排水ポンプ場の増設

令和3年7月8日の大雨により、廿日市市のJA広島総合病院に接道する国道2号で、道路冠水が発生しました。扇ポンプ場にはこの地域の雨水の排水のため、3台のポンプ設備が設置されていますが、平口ひろしは近年のゲリラ豪雨に備え、早急に2台増設するよう関係先に要望していきます。



## 南観音から横川までの雨水対策

広島市は昨今の中心市街地の雨水による浸水に対して、住民の生の声を聴き、福島地区から中広通り横川地区までと福島地区から南観音地区までの直径5メートルの下水管の工事をするとしています。計約5.5キロメートルの工事です。この工事は令和22年度に完成予定ですが、平口ひろしはこの工事の完成を大幅に前倒しする予定です。



## 踏切道改良促進法の改正

平口ひろしが自由民主党国土交通部長としてのリーダーシップを発揮して踏切道改良促進法を改正しました。同法は令和3年3月31日に成立し、4月1日から施行されました。

- (1)地域の実情に応じた踏切道対策(全国93箇所指定)
  - 例/草津踏切(広島市西区)  
近隣小学校の通学路に指定されているが歩道がなく、児童の通行通学に支障を来している。
- (2)災害時の管理の方法を定めるべき踏切道(全国181箇所指定)
  - 例/観音崎第1踏切、隅之浜踏切(広島市佐伯区)  
警察消防などとの連絡体制、長期間の通行遮断の解消等を定めることになる。



## 荒谷川支川災害関連緊急砂防事業の実施

令和3年8月14日、大雨により広島市の1万世帯余りに避難情報が出る中、佐伯区荒谷川支川で家屋11戸が土砂災害の被害に遭いました。この支川は、危険性の高い地域として予算をつけ、砂防工事を実施することになりました。

## 子供の健全な育成と全員共同参画社会の構築

虐待、いじめ、貧困など子供をめぐる様々な問題に包括的に対応し、各省庁にまたがる政策を一元管理する子ども庁を発足させます。また、令和3年6月千葉県八街市で小学生の列にトラックが突っ込み5人の死傷者が出た事故を教訓にし、国土交通省に働きかけをしました。その結果本年10月末までに小学校の通学路について対策案を作成し、道路管理者と地元警察署に対して要望を行うこととしました。

東京オリンピック、パラリンピックを通し、多様性の尊重・共存への気運が高まっています。性別、障がい等に起因する偏見や差別を解消し、誰もが自分らしく輝き、尊厳と誇りをもって生きていける社会を作るため、必要な法律を整備します。

## 2050年カーボンニュートラルの実現

地球温暖化は一刻の猶予もない地球の危機です。急激な気候変動や大洪水など、異常な自然現象が起こっています。その原因である空気中の二酸化炭素濃度の上昇を抑制するため、ゼロカーボンシティの実現を支援し、住宅の脱炭素化などライフスタイルの転換を推進します。それによって2050年にカーボンニュートラルを実現させます。

